

ジェイフレンド®

1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ

田植同時も、
(1キロ粒剤)
直播水稻も
OK!



コナギ



ノビエ



ホタルイ



アゼナ



イボクサ



クサネム



オモダカ



いざ、問題雑草退治!



協友アグリ株式会社

®: JA全農の登録商標

選ばれた3成分で、 いざ問題雑草退治!

しつこいノビエや、SU抵抗性雑草、クサネム・イボクサ等の難防除雑草だって逃さない!
定評の3成分「ピラクロニル」「テフリルトリオン」「オキサジクロメホン」を配合した、
頼れる一発処理除草剤が誕生しました。
問題雑草に強いジェイフレンドが、農家の皆さまにより一層の安心をお届けします。



**ホタルイも
しっかり枯らす!**



**後発のノビエも
長く抑える!**



**難防除雑草
に強い!**



**頼もしい3つの
チカラが集結!**



ジェイフレンド®

テフリルトリオン

- 4-HPPD阻害剤(白化剤)
- SU抵抗性を含む、ホタルイ、コナギ、オモダカ等に高い効果を示す。イボクサ、クサネム、タウコギ等の難防除雑草にも有効。

オキサジクロメホン

- ノビエに対して優れた残効性を発揮し、長期間発生を抑制する。

ピラクロニル

- PPO阻害剤(褐変剤)
- ノビエを始め、SU抵抗性雑草(コナギ、アゼナ、オモダカ等)に優れた効果を発揮する。効果の発現が非常に速い。

■殺草スペクトラム

雑草名	ノビエ	一年生カヤツリグサ	コナギ	その他広葉	マツバイ	ホタルイ	ウリカワ	ミスガヤツリ	ヘラオモダカ	ヒルムシロ	セリ	イボクサ(切断茎)	クサネム	オモダカ	クロクワイ
有効成分															
ピラクロニル	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	△	◎	○	×	△	◎	○	○
テフリルトリオン	△	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○*	○*
オキサジクロメホン	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ジェイフレンド	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎*	○*

処理時期:ノビエ1.5葉期処理 ◎:極大 ○:大 △:中 ×:小~無 —:データ無し *多年生雑草は発生が長期に及ぶので、多発生圃場では有効な後処理剤と体系で使用してください。

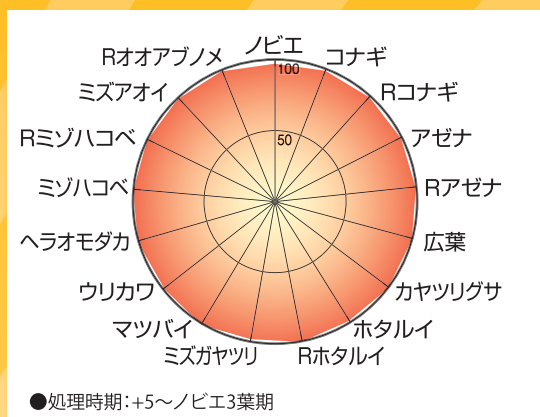
しつこいノビエはもちろん、SU抵抗性雑草、 防除の難しい様々な問題雑草にもしっかりと効果を発揮!

特長

- ①後発のノビエの発生を長く抑制します。
- ②SU抵抗性雑草(ホタルイ、コナギ、オモダカ等)に高い効果を発揮します。
- ③クサネム、イボクサ、タウコギ等の難防除雑草にも優れた効果を示します。
- ④効果の発現が非常に速く、長期間持続します。

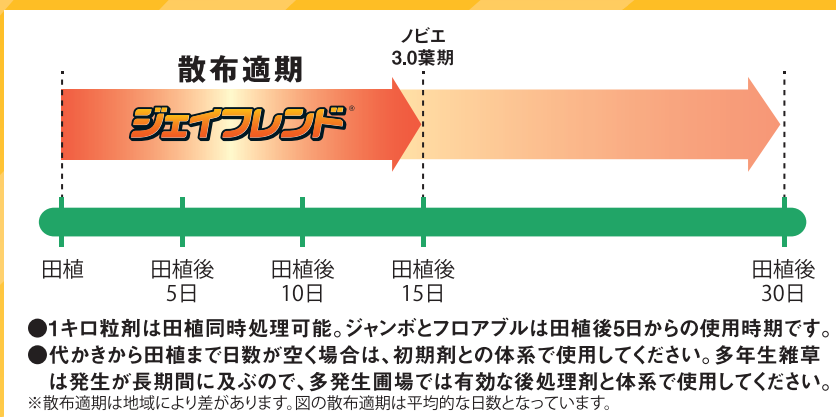
各種雑草への防除効果

2014~2015年 日植調委託試験成績より
試験例数:317例



上手な使い方

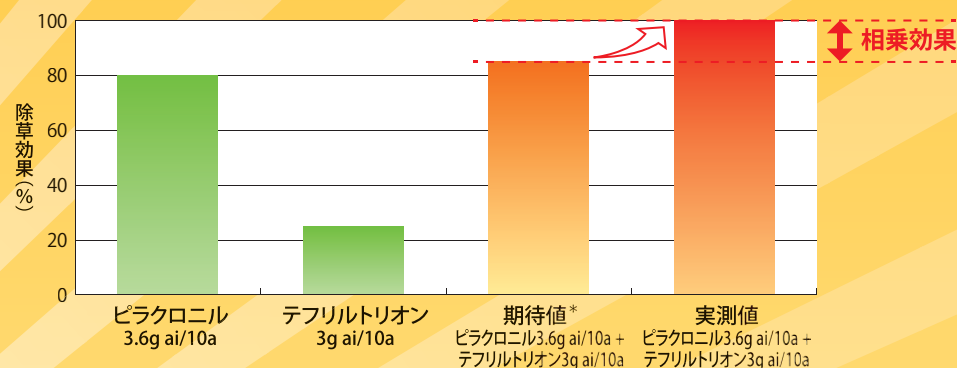
・田植同時処理(フロアブル・ジャンボは田植後5日)~ノビエ3葉期までの防除が可能です。



ノビエに対する相乗効果(ピラクロニルとテフリルトリオンの相乗効果)

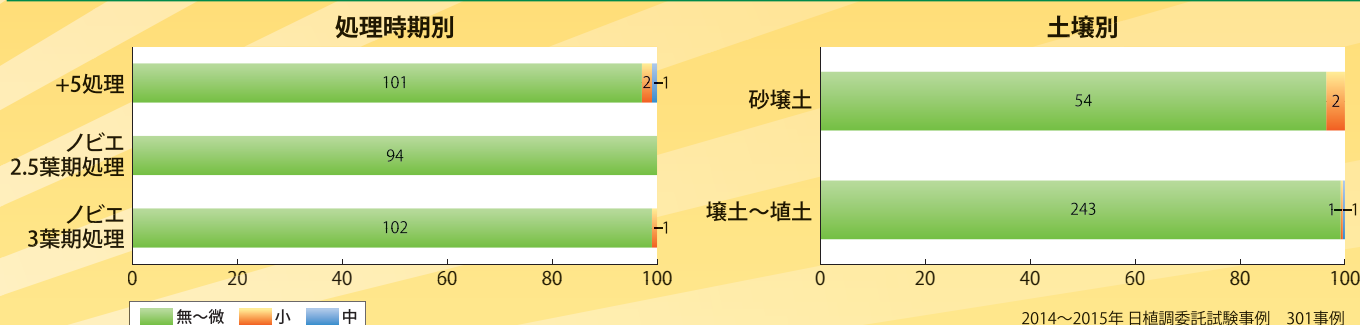


ノビエに
効果安定



ピラクロニルとテフリルトリオンは、ノビエに対して相乗効果が確認された

水稻に対する安全性



全試験301事例中、そのほとんどが薬害無~微であり、水稻に対する高い安全性が確認できた



ノビエに対する効果

ノビエ3葉期まで高い効果を示し、持続性にも優れた。

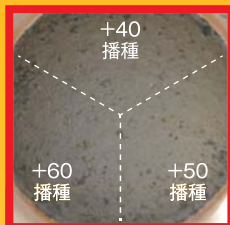
長い残効性

ノビエ3葉期まで枯殺

■ノビエに対する残効

●処理90日後 ※漏水有

協友アグリ株式会社 社内試験(2016年) 供試草種:ノビエ 処理薬量:1kg/10a
播種日:処理40、50、60日後 水管理:漏水有(処理翌日から2cm/8h/日を3日間)



ジェイフレンド®



A剤



B剤



C剤



無処理

ノビエに対して、60日間の長期残効性が認められた



■ノビエ3葉期に対する効果

●処理37日後

JA全農 営農・技術センター(2016年) 供試草種:タイヌビエ 処理薬量:1kg/10a 処理時期:タイヌビエ3葉期 水管理:無漏水



ジェイフレンド®



D剤



無処理

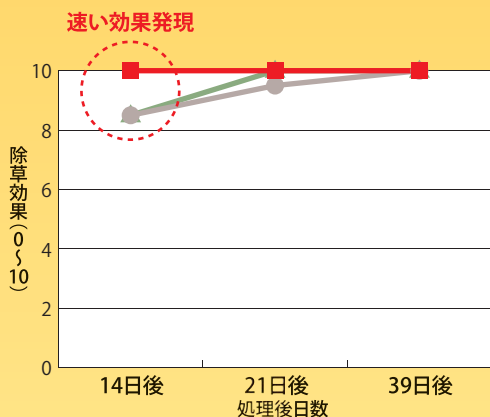
3葉期のノビエに優れた効果を示した

■高葉令のノビエに対する速効性



効果発現
が速い!

●処理14日後



■ ジェイフレンド1キロ粒剤 ● E剤 ▲ F剤

協友アグリ株式会社 社内試験(2015年)
供試草種:ノビエ
処理薬量:1kg/10a
処理時期:ノビエ3葉期
水管理:無漏水



ジェイフレンド®



E剤



F剤



無処理

3葉期のノビエに対して速効的に作用し、14日以内に枯死に至った



SU抵抗性雑草への効果

長い残効性

ホタルイ3葉期まで枯殺

コナギも枯殺

オモダカも枯殺

■SU抵抗性ホタルイに対する残効

●処理90日後 ※漏水有

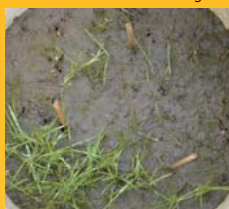
協友アグリ株式会社 社内試験(2016年) 供試草種:ホタルイ(SU抵抗性バイオタイプ1・2、感受性)
処理薬量:1kg/10a 播種日:処理40、50、60日後 水管理:漏水有(処理翌日から2cm/8h/日を2日間)



3つのバイオタイプの
種子を播種



ジェイフレンド®



C剤



F剤



無処理

SU抵抗性・感受性を問わず、ホタルイに対して長期の残効性が認められた

■SU抵抗性ホタルイ3葉期への効果

●処理42日後 ※薬量は半量処理

JA全農 営農・技術センター(2016年) 供試草種:SU抵抗性イヌホタルイ
処理薬量:0.5kg/10a 処理時期:SU抵抗性イヌホタルイ3葉期 水管理:無漏水



ジェイフレンド®



D剤



無処理

3葉期のSU抵抗性ホタルイに優れた効果を示した

■SU抵抗性コナギへの効果

●処理38日後

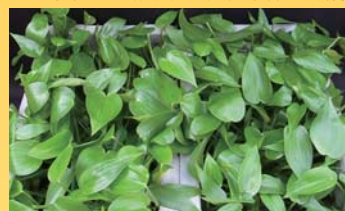
JA全農 営農・技術センター(2016年) 供試草種:SU抵抗性コナギ
処理薬量:1kg/10a 処理時期:コナギ線形葉3.5葉期 水管理:無漏水



ジェイフレンド®



I剤



無処理

SU抵抗性コナギに高い効果を示した

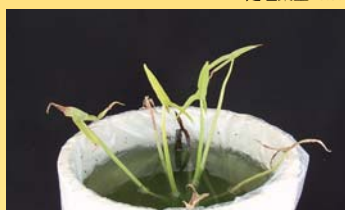
■SU抵抗性オモダカへの効果

●処理30日後

協友アグリ株式会社 社内試験(2017年) 供試草種:SU抵抗性オモダカ
処理薬量:0.5kg/10a 処理時期:矢尻1葉期 水管理:無漏水



ジェイフレンド®



P剤



無処理

SU抵抗性オモダカに高い効果を示した





問題雑草に対する効果

ヒメミソハギ、クサネム、アメリカセンダングサ、イボクサ、アシカキ、

■ヒメミソハギに対する効果

●処理42日後

JA全農 営農・技術センター(2016年) 供試草種:ヒメミソハギ 処理薬量:1kg/10a 処理時期:ヒメミソハギ本葉1葉期 水管理:無漏水



ジェイフレンド®



F剤



D剤



無処理

ヒメミソハギに高い効果を示した

■クサネムに対する残効

●処理80日後

協友アグリ株式会社 社内試験(2016年) 供試草種:クサネム 処理薬量:1kg/10a 播種日:処理50日後 水管理:無漏水



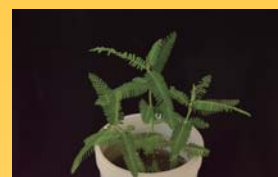
ジェイフレンド®



F剤



J剤



G剤



K剤



H剤

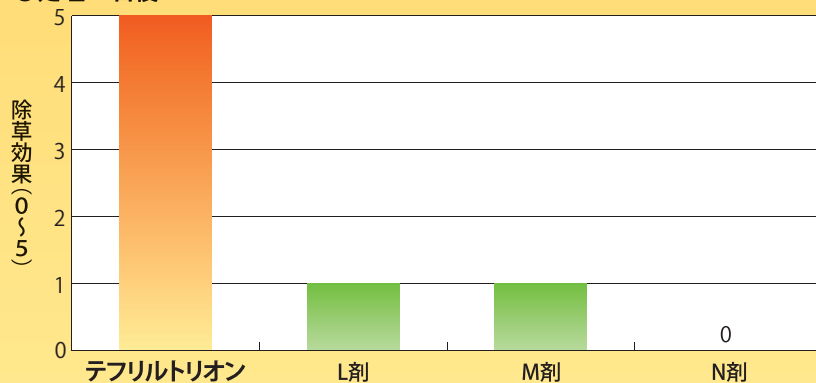


無処理

クサネムに対して対照剤よりも優る長い残効性が認められた

■アメリカセンダングサに対する効果(テフリルトリオン原体の効果)

●処理25日後



アメリカセンダングサ

JA全農 営農・技術センター(2007年)
供試草種:アメリカセンダングサ
処理薬量:テフリルトリオン(30g ai/10a)
処理時期:アメリカセンダングサ 本葉2葉期
水管理:処理時までごく浅水管理し、薬剤処理後は水深3cmで管理。無漏水。

アメリカセンダングサに高い効果を示した

アゼガヤ等の問題雑草に優れた効果が長期間持続した。

ヒメミソハギも枯殺

クサネムも枯殺

アメリカセンダングサも枯殺

イボクサも枯殺

アシカキも枯殺

アゼガヤも枯殺

■イボクサに対する効果

●処理40日後

協友アグリ株式会社 社内試験(2016年) 供試草種:イボクサ 処理薬量:1kg/10a 処理時期:再生2葉期 水管理:無漏水



ジェイフレンド®



F剤



G剤



J剤



無処理

イボクサに対して対照剤よりも優る高い効果が認められた

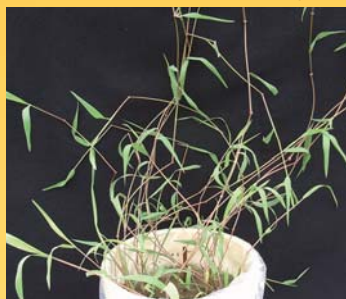
■アシカキへの効果

●処理30日後

協友アグリ株式会社 社内試験(2017年) 供試草種:アシカキ
処理薬量:1kg/10a 処理時期:埋込後、新葉1~2枚展開期 水管理:無漏水



ジェイフレンド®



G剤



無処理

アシカキに高い効果を示した



■アゼガヤに対する効果 (ピラクロニル原体の効果)

●処理20日後

協友アグリ株式会社 社内試験(2010年) 供試草種:アゼガヤ 処理薬量:1kg/10a
処理時期:アゼガヤ5葉期 水管理:処理時までは落水管理、処理後は水深3cmで管理。無漏水。



ピラクロニル



M剤



無処理



アゼガヤ

アゼガヤ5葉期に高い効果を示した

適用雑草の範囲及び使用方法

*毒物及び劇物に該当しないものを指している通称

ジェイフレンド 1キロ粒剤 ■登録番号 第23844号 ■有効成分(一般名)オキサジクロメホン:0.3% テフリルトリオン:3.0% ピラクロニル:2.0% ■人畜毒性:普通物*

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数		使用方法	雑草名	散布適期
移植 水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ、ウリカワ オモダカ、クログワイ ヒルムシロ、セリ	移植時	1kg/10a	本剤	1回	田植同時 散布機で施用	ノビエ	3葉期まで(直播:2.5葉期まで)
		移植直後～ ノビエ3葉期 但し、 移植後30日まで		オキサジクロメホン剤	2回		ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ	3葉期まで(直播:2葉期まで)
		直播 水稻		水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ、ウリカワ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 但し、 収穫60日前まで		テフリルトリオン剤	2回
ピラクロニル剤	2回					オモダカ クログワイ	発生前～発生始期まで	
						ヒルムシロ	発生期まで	
						セリ	再生前～再生始期まで	

ジェイフレンド フロアブル ■登録番号 第23845号 ■有効成分(一般名)オキサジクロメホン:0.57% テフリルトリオン:5.7% ピラクロニル:3.8% ■人畜毒性:普通物*

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数		使用方法	雑草名	散布適期	
移植 水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ、ウリカワ オモダカ、クログワイ ヒルムシロ、セリ	移植後5日～ ノビエ3葉期 但し、 移植後30日まで	500mℓ /10a	本剤	1回	原液温水散布 又は水口施用	ノビエ	3葉期まで(直播:2.5葉期まで)	
				オキサジクロメホン剤	2回		ミズガヤツリ	4葉期まで(直播:3葉期まで)	
				テフリルトリオン剤	2回	原液温水散布	ホタルイ ウリカワ	3葉期まで(直播:2葉期まで)	
				ピラクロニル剤	2回		ヘラオモダカ	3葉期まで	
直播 水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ミズガヤツリ、ウリカワ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 但し、 収穫90日前まで						オモダカ クログワイ	発生前～発生始期まで
								ヒルムシロ	発生期まで
							セリ	再生前～再生始期まで	

ジェイフレンド ジャンボ ■登録番号 第23924号 ■有効成分(一般名)オキサジクロメホン:0.75% テフリルトリオン:7.5% ピラクロニル:5.0% ■人畜毒性:普通物*

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数	使用方法	雑草名	散布適期	
移植 水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ、ウリカワ オモダカ、クログワイ ヒルムシロ、セリ	移植後5日～ ノビエ3葉期 但し、 移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (400g) /10a	本剤	1回	水田に小包装 (パック) のまま 投げ入れる	ノビエ	3葉期まで(直播:2.5葉期まで)
				オキサジクロメホン剤	2回		ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ	3葉期まで
直播 水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ミズガヤツリ、ウリカワ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 但し、 収穫60日前まで		テフリルトリオン剤	2回		ミズアオイ	2葉期まで
				ピラクロニル剤	2回		オモダカ クログワイ	発生前～発生始期まで
							ヒルムシロ	発生期まで
							セリ	再生前～再生始期まで

使用上の注意事項 (一部抜粋)

- 3製剤に共通する注意事項**

 - 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。
 - 砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)、軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田および浮き苗の多い水田では葉害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - 稲の根が露出する条件では葉害が生じるおそれがあるので注意してください。
 - 苗の植え付けが均一になるよう、代かき、均平作業および植え付けは正しい方法で行ってください。また、未熟有機物を施用した場合は、特に正しい方法で行ってください。
 - 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
 - いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
 - 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないでください。
 - 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
 - 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
 - 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
 - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

1キロ粒剤の注意事項

 - 散布に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(水深3～5cm)で均一に散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- ごくまれに水稲に白化症状が認められる場合があります。しかしながら、その後は正常な葉が伸展してくるので、生育に影響を及ぼすことはほとんどありません。

●本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の担当を受けてください。

フロアブルの注意事項

 - 使用前に容器を軽く振ってください。
 - 散布に当たっては水の出入りを止め湛水状態(水深3～5cm)で本剤が水田全面にいきわたるように散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
 - 本剤が多量に稲体に付着した場合に、付着した葉ならびに直後に伸展してくる新葉1～2枚に白化症状が認められる場合があります。しかしながら、その後は正常な葉が伸展してくるので、生育に影響を及ぼすことはほとんどありません。なお、ノズル散布をした場合、白化症状が強く出ることがあります。

ジャンボ剤の注意事項

 - 散布に当たっては水の出入りを止め5～6cmの湛水状態に保ってください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
 - パックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することがないようにしてください。
 - 藻や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な葉害や効果不足を生じることがあるので使用をさけてください。
 - 拡散が不十分な場合などに、まれに水稲に白化症状が認められる場合があります。しかしながら、その後は正常な葉が伸展してくるので、生育に影響を及ぼすことはほとんどありません。
 - 本剤は水溶性フィルムで小包装化されているため、ぬれた手で触らないでください。
 - 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意してください。
眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の担当を受けてください。
- *本資料の記載内容は2018年10月現在の登録内容に基づいています。

★使用前にはラベルをよく読んでください。★ラベルの記載以外には使用しないでください。★本剤は小児の手の届くところには置かないでください。★空袋・空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。